

2023 年度 事業計画書

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月 31日

公益財団法人日本ゲートボール連合

2023 年度事業計画

I. 事業方針

1984年に日本ゲートボール連合が創設して以来、他のスポーツ団体にもまして素晴らしい組織形態を維持している。さりとて昨今の厳しい状況で加盟団体の運営が厳しくなっており、この組織を活性化させるために明確な支援を実施したい。

本年度は、5年目となる再生プロジェクトを評価し、ユニバーサルスポーツとして実現可能な事業展開のあり方を見出すべく、柔軟な姿勢で事業を行っていく。本連合は、関係機関と連携をとり、専門家の意見を積極的に取り入れながら新しい分野に取り組み、ゲートボールの更なる可能性を模索する。誰もがスポーツに参画できるような機会の創出・機運醸成に引き続き取り組み、ゲートボールを通じて地域社会の活性化に向けた事業を促進する。

全世代スポーツのコンセプトを再度徹底し、老若男女、障害のある方もない方もすべての人が生きがいを感じられる、多様性が尊重される社会に対応するためのゲートボールを目指し、ゲートボールを次の世代に引き継いでいくために、大胆かつ慎重に前進する。

また、ゲートボールのデジタル化開発、加盟団体へのICT（情報通信技術）環境整備や地方組織活性化のための事業助成などを継続していく。

なお、日本ゲートボール連合の主たる事業は、日本財団を通じたボートレースの貴重な収益金からの助成をはじめ、日本スポーツ振興センターやスポーツ安全協会等から支援をいただいて実施（一部申請中）する予定であり、常に経費の見直しを図りながら、これらの資金を有効・適切に活用し、一層の効率的かつ積極的な事業運営を行う。

II. 事業【公益目的事業】

1. ゲートボール再生プロジェクト

1) 新たなゲートボールファン拡大に向けた普及活動の創出〔日本財団助成事業〕
再生プロジェクトにおける目標に向け、2019年度より開始した各事業の成長と継続した新規開拓による拡充を図り、更なる具現化を目指す。また、新たな可能性や展開を見出した際は、実現性や重要性等を考慮しつつ、柔軟かつ即効的に挑戦し、再生プランを見直す。

- (1) 大学スポーツとしての普及
- (2) 小学校低学年・未就学児向け教育プログラムの開発
- (3) ゲームバリエーション（キャンプスポーツ）の研究
- (4) 広報戦略の強化

2) 組織強化〔日本財団助成事業〕

新たなゲートボール普及と新規愛好者獲得に向け、加盟団体の実情に沿って企画立案された再生事業への支援を行うとともに、再生事業への更なる集中実施ができるよう、オンライン化による事務局業務や経費の削減等、あらゆる面での立て直しを図る。一方、都道府県の枠にとらわれず、地域特性などを組み入れた多様な新組織としての再編も視野に入れて取り組んでいく。

- (1) 基盤強化、人材育成、ICT環境の整備、マネジメント支援等
 - ▶地方組織活性化助成事業の実施
 - ▶再生プロジェクト全国会議の実施
- (2) 地域再生モデルの推進

2. 普及及び振興

1) 学校・地域スポーツとしての育成

- (1) 全国高等学校ゲートボール選手権大会〔スポーツ安全協会助成 申請中〕
- (2) 全国ユースゲートボール連盟への活動支援
- (3) 中学校を中心とした部活動地域移行に関する調査・研究・活動支援
- (4) 放課後児童クラブに関する調査・研究・活動支援

2) 日本発祥スポーツとしての海外普及〔日本財団助成事業〕

- (1) 指導者や審判員等の海外派遣
- (2) ゲートボール用具や刊行物等の寄贈

3. 全日本選手権大会及びその他の競技会の開催

1) 全国大会の開催

- (1) 全日本ゲートボール選手権大会〔スポーツ振興基金助成 申請中〕
- (2) 全国選抜ゲートボール大会〔日本財団助成事業〕
- (3) 全日本世代交流ゲートボール大会〔日本財団助成事業〕
- (4) 全国ジュニアゲートボール大会〔日本財団助成事業〕
 - ▶開催地・期日等は別表1参照。

2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への開催支援

- (1) 地域ゲートボール選手権大会（ジュニア、ミドル、スーパーシニア含む）
- (2) 都道府県ゲートボール大会

4. 国民体育大会の実施

- (1) 特別国民体育大会（公開競技）
- (2) 国民体育大会予選会（10 地域）の開催支援
- (3) 2024 年度以降の国民スポーツ大会の開催準備

【参考】

<第2期>

<第3期>

<第4期>

年	開催地	年	開催地	年	開催地
2019 年	茨城県行方市	2024 年	佐賀県	2028 年	長野県（予定）
2020 年	鹿児島県 ※延期	2025 年	滋賀県	2029 年	群馬県（予定）
2021 年	三重県 ※中止	2026 年	青森県	2030 年	島根県（予定）
2022 年	栃木県那珂川町	2027 年	宮崎県	2031 年	奈良県（予定）
2023 年	鹿児島県指宿市				

5. 国際的競技会の開催準備と代表チームの選考及び派遣、並びに外国チームの招聘

- (1) 第 8 回アジアゲートボール選手権大会の開催準備
 - ▶開催地・期日等は別表 1 参照。
- (2) 国際大会・交流会等への日本チームの派遣〔日本財団助成事業〕

6. 競技規則に関すること

見直しが予定されている「世界ゲートボール連合：国際公式競技規則」に対して検討内容を世界連合に提言するとともに、改正が施行となった場合は、日本の公式競技規則も準拠することとし、すみやかに移行できる整備を行う。

7. 指導者の養成

- (1) 指導者研修会の実施〔日本財団助成事業〕
- (2) JSP0 公認ゲートボール指導者（コーチ 1）の養成

8. 審判員の養成及び認定

- (1) 審判員資格の試験、登録、並びに登録更新の実施
 - ▶ジュニア・ユース世代への資格取得促進
- (2) 国際審判員資格の試験、登録、並びに登録更新の実施
- (3) 全国大会等の開催地での審判研修会の実施〔日本財団助成事業〕

9. ゲートボール器具・用具の研究開発及び認定

- (1) 安全検査に合格したスティックやボールに関する認定制度の実施

10. ゲートボールに関する刊行物の発行

- (1) 書籍「競技規則・審判実施要領」、「ルールの解説 Q&A」等の発行
▶国際公式競技規則の改正となった場合には、各種刊行物等の見直しを行い、正確な伝達とすみやかな施行への整備を図る。
- (2) 「ゲートボール Navi 2023」の作成配布〔スポーツ振興くじ助成 申請中〕
▶2024年3月頃：36,500部予定
- (3) 「ゲートボールテキスト 2023」の作成配布〔スポーツ振興くじ助成 申請中〕
▶2023年7月頃：32,000部予定

11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 功労者等の表彰

- (1) ゲートボール功労賞（被表彰者は各団体1名）
- (2) 健康功労賞（各団体1名～8名とし、200名を基準とした比例配分）
- (3) 審判員功労賞（各団体最低1名とし、100名を基準とした比例配分）

2) 全国健康福祉祭（ねんりんピック）のほか、官公庁・自治体等の公的機関及び関連団体が開催する各種ゲートボール大会への後援協力等

3) ゲートボール活動における事故予防・防止に向けた啓発活動等

- (1) ゲートボール活動中（競技会や講習会等）における事故状況の収集と予防・防止に向けた啓発への取組み
- (2) 見舞金の対応

4) アンチ・ドーピング教育・啓発活動

5) 広報

- (1) ウェブサイト及び公式SNS等の充実
- (2) 加盟団体による情報発信への支援

6) その他

- (1) 会員データシステム（オンライン）の整備
- (2) 寄付金・賛助金及び協賛企業等の募集強化
- (3) スポーツ団体ガバナンスコードへの対応
- (4) 定時評議員会、理事会、その他必要に応じた各種会議の開催
- (5) 国際ゲートボール組織（世界・アジア）の事務局業務の受託

【別表1】2023年度 日本連合主催全国大会等

(1)	文部科学大臣杯 第39回 全日本ゲートボール選手権大会	スポーツ振興基金助成 申請中	
	栃木県さくら市	2023年10月21日(土)・22日(日)	48チーム
(2)	第38回 全国選抜ゲートボール大会	日本財団助成事業	
	和歌山県和歌山市	2023年6月3日(土)・4日(日)	96チーム
(3)	内閣総理大臣杯 第40回 全日本世代交流ゲートボール大会	日本財団助成事業	
	香川県綾川町	2023年9月2日(土)・3日(日)	48チーム
(4)	第28回 全国ジュニアゲートボール大会	日本財団助成事業	
	埼玉県熊谷市	2023年8月5日(土)・6日(日)	144チーム
(5)	第22回 全国社会人ゲートボール大会		
		※ 隔年開催年により2023年度は開催せず	チーム
(6)	第12回 全国高等学校ゲートボール選手権大会 3人制(リレーションー3)による実施	スポーツ安全協会助成 申請中	
	長野県長野市	2023年12月10日(日)	12校程度
(7)	特別国民体育大会〔公開競技〕 燃ゆる感動かごしま国体	-----	
	鹿児島県指宿市	2023年9月23日(土)・24日(日)	32チーム

<国際大会>

(8)	第13回世界ゲートボール選手権大会	-----	
	開催地：未定	2022年開催予定が、2026年開催へと延期	
	世界連合加盟国及び普及国・地域から選ばれた64チーム		
(9)	第8回 アジアゲートボール選手権大会	-----	
	中華人民共和国	2020年開催予定が(2021年へ延期となり、)2024年開催へと再延期	
	アジア連合加盟団体及びアジア地域の普及国・地域から選ばれた64チーム		